

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場会社名 住友金属工業株式会社

上場取引所 東 大 名 札 福

コード番号 5405 URL <http://www.sumitomometals.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 友野 宏

問合せ先責任者 (役職名) 広報グループ長

(氏名) 松井 俊文

TEL (03) 4416-6115

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	924,790	△37.6	△31,179	—	△58,658	—	△57,475	—
21年3月期第3四半期	1,482,534	—	209,781	—	222,838	—	119,464	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△12.40	—
21年3月期第3四半期	25.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	2,448,381	857,987	33.0	174.52
21年3月期	2,452,535	904,371	35.0	184.92

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 809,031百万円 21年3月期 857,697百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	2.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の1株当たり年間配当金予想は、期末配当を最低限2円50銭、年間配当を最低限5円としております。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,290,000	△30.1	0	—	△45,000	—	△50,000	—	△10.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	4,805,974,238株	21年3月期	4,805,974,238株
② 期末自己株式	22年3月期第3四半期	170,100,605株	21年3月期	167,882,514株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	4,636,191,713株	21年3月期第3四半期	4,638,506,184株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 「2. 配当の状況」の平成22年3月期の1株当たり年間配当金予想は、期末で最低限2円50銭、年間で最低限5円としております。なお、平成22年3月期の1株当たり期末配当金の予想につきましては、確定し次第お知らせいたします。

(参考) 平成22年3月期第3四半期(3ヶ月)の連結業績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

(百万円未満切捨て)

連結経営成績(3ヶ月)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	326,051	△34.9	△3,117	—	△11,044	—	△10,798	—
21年3月期第3四半期	501,228	—	79,039	—	71,129	—	27,373	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第3四半期	△2.	33	—	—
21年3月期第3四半期	5.	90	—	—

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(全体概況)

当第3四半期連結会計期間の鋼材需要は、自動車分野等の製造業向け及び輸出を主体として回復基調で推移いたしました。当社グループは、コスト削減と支出の抑制に引き続き全力をあげて取り組むとともに、将来にわたる持続的成長に向けた施策を着実に実行いたしました。

当第3四半期連結会計期間の当社グループの業績は、鋼材価格の低下や販売品種構成の悪化等により、前第3四半期連結会計期間と比較して悪化いたしました。その結果、売上高は3,260億円（前第3四半期連結会計期間対比1,751億円の減少）、営業損失は31億円（前第3四半期連結会計期間対比821億円の利益の減少）、経常損失は110億円（前第3四半期連結会計期間対比821億円の利益の減少）、四半期純損失は107億円（前第3四半期連結会計期間対比381億円の利益の減少）となりました。

(セグメント別の業績)

当第3四半期連結会計期間のセグメント別の連結売上高及び連結営業利益は下記の表のとおりとなりました。

	連結売上高 (億円)	増減率 ※1 (%)	連結営業利益 ※2 (億円)	増減率 ※1 (%)
鉄鋼事業	3,081	△35.3	△53	—
鋼板・建材カンパニー	1,338	△33.2		
鋼管カンパニー	1,130	△40.2		
交通産機品カンパニー	209	△20.5		
住友金属小倉	288	△34.3		
住友金属直江津	55	△40.5		
その他	58	△17.5		
その他の事業 ※3	178	△29.1	22	—
消去又は全社	—	—	△0	—
合計	3,260	△34.9	△31	—

※1 増減率は前第3四半期連結会計期間対比

※2 △は連結営業損失を示しております。

※3 エンジニアリング事業及びエレクトロニクス事業については当連結会計年度の第1四半期よりその他の事業に含めております。

(セグメント別の当第3四半期連結会計期間の経営施策)

①鉄鋼事業

鉄鋼事業につきましては、コスト削減や支出の抑制といった収益改善策に取り組みながら、「質」と「規模」のバランスのとれた成長を目指すという中長期的な方針に基づく施策を着実に実行いたしました。

当社は平成21年12月に、インドのプーシャン社と、同社のオリッサ製鉄所における薄板OEM供給に関して基本合意いたしました。今回の合意をもとに、最新鋭の製鉄所と当社が長年培った技術により、お客様が必要とする高級鋼材をインドで供給する体制を整えます。

株式会社住友金属小倉で進めてまいりました製鋼プロセス革新投資のうち、新二次精錬設備及び新連続鋳造設備が完成し、平成21年12月に稼動いたしました。特殊鋼棒鋼・線材の分野で高品質と高効率を両立させ、高級化するお客様のニーズに応えることが可能となりました。新脱リン炉の建設につきましても計画どおり進めております。

また、平成21年12月に、当社と中央電気工業株式会社（当社の持分法適用関連会社）は、将来の市場拡大が見込まれる二次電池材料事業の飛躍を目指し、競争力の強化を実現するため、両社における当該事業を中央電気工業株式会社に集約、統合いたしました。

②その他の事業

その他の事業につきましては、当社グループが事業の選択と集中を進める中で、効率的な事業体制の構築を推進しております。

橋梁事業につきましては、平成21年10月に、株式会社横河ブリッジホールディングスと共同事業化いたしました。

※ 平成22年3月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年3月期第1四半期決算短信（平成21年7月30日開示）及び第2四半期決算短信（平成21年10月29日開示）をご参照ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は24,483億円と前連結会計年度末と比べ41億円減少いたしました。純資産は、8,579億円と463億円減少し、自己資本比率は、33.0%となりました。連結借入残高は、「差別化の加速」に向けた設備投資等の資金支出や当第3四半期連結累計期間における業績の悪化等により11,774億円と前連結会計年度末と比べ1,873億円増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の第4四半期は、鋼板事業の需要は引き続き回復し、鋼管事業の需要についても緩やかに回復すると見込んでおり、営業利益、経常利益、当期純利益とも黒字を予想しております。

通期の連結業績予想は、一部の市況影響を受ける品種において鋼材価格の低下はあるものの、販売品種構成を好転させるなど、収益改善への取り組みを行うことにより、平成21年10月29日公表の数値より修正しておりません。

当社グループは、厳しい経済環境に対応するために、より一層のコスト削減を図るとともに、支出の抑制に努め、財務体質を改善してまいりたいと考えております。

世界の鋼材需要は中長期的には確実に増加すると考えており、「質」と「規模」のバランスのとれた成長を目指すという中長期的な方針に基づく施策を実行してまいります。特に地球環境保全是ますます重要になっていくため、当社グループはCO₂排出の抑制に役立つ技術と製品の強化に注力いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

以下の簡便な会計処理を適用しております。

① 棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、主として、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法を適用しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している場合に、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を適用しております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法、あるいは繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法等を適用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

収益の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、長期・大型請負工事（主として工期1年超、請負金額1億円以上）については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これにより、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,688	41,056
受取手形及び売掛金	147,880	135,804
商品及び製品	172,476	208,713
仕掛品	43,211	37,278
原材料及び貯蔵品	208,491	264,257
その他	58,356	51,339
貸倒引当金	△187	△1,087
流動資産合計	652,916	737,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	265,295	247,065
機械装置及び運搬具(純額)	430,711	379,805
土地	341,771	341,477
その他(純額)	101,118	164,858
有形固定資産合計	1,138,896	1,133,207
無形固定資産	6,368	5,226
投資その他の資産		
投資有価証券	535,833	483,001
その他	115,930	93,995
貸倒引当金	△1,564	△258
投資その他の資産合計	650,199	576,738
固定資産合計	1,795,464	1,715,172
資産合計	2,448,381	2,452,535
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	210,286	313,706
短期借入金	283,592	237,323
その他	184,576	192,939
流動負債合計	678,454	743,969
固定負債		
社債	185,656	160,652
長期借入金	655,154	568,035
退職給付引当金	20,734	22,510
特別修繕引当金	212	225
その他	50,181	52,770
固定負債合計	911,939	804,194
負債合計	1,590,394	1,548,163

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,072	262,072
資本剰余金	61,829	61,829
利益剰余金	588,551	680,807
自己株式	△91,093	△90,528
株主資本合計	821,360	914,180
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,637	△41,542
繰延ヘッジ損益	△1,367	△690
土地再評価差額金	11,834	11,833
為替換算調整勘定	△17,158	△26,083
評価・換算差額等合計	△12,329	△56,483
少数株主持分	48,955	46,674
純資産合計	857,987	904,371
負債純資産合計	2,448,381	2,452,535

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	1,482,534	924,790
売上原価	1,166,911	863,861
売上総利益	315,622	60,929
販売費及び一般管理費		
発送費	34,410	22,583
従業員給料及び手当	30,265	29,324
その他	41,164	40,201
販売費及び一般管理費合計	105,841	92,109
営業利益又は営業損失(△)	209,781	△31,179
営業外収益		
受取配当金	—	2,928
持分法による投資利益	28,584	—
その他	18,280	10,207
営業外収益合計	46,864	13,136
営業外費用		
支払利息	10,705	11,916
持分法による投資損失	—	16,058
為替差損	8,052	—
その他	15,049	12,640
営業外費用合計	33,807	40,615
経常利益又は経常損失(△)	222,838	△58,658
特別損失		
持分変動損失	—	1,592
事業再編損	—	1,532
投資有価証券評価損	15,872	—
特別損失合計	15,872	3,124
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	206,965	△61,783
法人税、住民税及び事業税	72,372	2,981
法人税等調整額	11,726	△7,218
法人税等合計	84,099	△4,236
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3,402	△71
四半期純利益又は四半期純損失(△)	119,464	△57,475

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	501,228	326,051
売上原価	386,607	298,337
売上総利益	114,621	27,713
販売費及び一般管理費		
発送費	11,638	8,661
従業員給料及び手当	9,856	9,389
その他	14,086	12,779
販売費及び一般管理費合計	35,582	30,831
営業利益又は営業損失(△)	79,039	△3,117
営業外収益		
為替差益	—	1,045
受取配当金	3,326	—
持分法による投資利益	4,352	—
その他	1,651	3,922
営業外収益合計	9,330	4,968
営業外費用		
支払利息	3,516	4,097
持分法による投資損失	—	4,356
為替差損	8,676	—
その他	5,047	4,440
営業外費用合計	17,240	12,894
経常利益又は経常損失(△)	71,129	△11,044
特別損失		
投資有価証券評価損	15,872	—
特別損失合計	15,872	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	55,256	△11,044
法人税、住民税及び事業税	22,547	1,809
法人税等調整額	4,425	△2,536
法人税等合計	26,972	△727
少数株主利益	910	481
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,373	△10,798

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	206,965	△61,783
減価償却費	81,812	88,636
持分法による投資損益(△は益)	△28,584	16,058
投資有価証券評価損益(△は益)	15,872	—
売上債権の増減額(△は増加)	△45,976	△22,470
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,892	85,336
仕入債務の増減額(△は減少)	73,107	△102,638
その他	15,594	10,736
小計	235,899	13,876
法人税等の支払額	△94,278	△37,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,620	△23,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	20,165	10,502
投資有価証券の取得による支出	△29,029	△24,733
出資金の払込による支出	—	△34,595
有形及び無形固定資産の取得による支出	△125,932	△96,141
その他	△6,521	8,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,317	△136,424
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	27,654	7,690
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△6,000	43,000
長期借入れによる収入	75,464	154,515
長期借入金の返済による支出	△38,453	△29,103
社債の発行による収入	49,988	35,000
社債の償還による支出	△31,500	△24,000
配当金の支払額	△46,389	△34,782
その他	△8,106	△13,526
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,657	138,793
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,016	1,166
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	21,943	△20,259
現金及び現金同等物の期首残高	16,669	42,979
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	82	△147
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7	39
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,703	22,613

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	エレクトロ ニクス (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	476,026	2,378	9,553	13,270	501,228	—	501,228
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	679	—	—	4,644	5,324	(5,324)	—
計	476,706	2,378	9,553	17,915	506,553	(5,324)	501,228
営業利益又は営業損失	79,038	49	△980	995	79,102	(63)	79,039

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	鉄鋼 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	308,191	17,859	326,051	—	326,051
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	260	4,444	4,705	(4,705)	—
計	308,451	22,304	330,756	(4,705)	326,051
営業利益又は営業損失	△5,327	2,235	△3,091	(25)	△3,117

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	エレクトロ ニクス (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,400,303	7,564	39,147	35,518	1,482,534	—	1,482,534
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,288	16	—	14,131	15,436	(15,436)	—
計	1,401,592	7,581	39,147	49,650	1,497,971	(15,436)	1,482,534
営業利益又は営業損失	212,126	△484	△1,177	△452	210,011	(229)	209,781

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	865,938	58,852	924,790	—	924,790
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	677	13,264	13,941	(13,941)	—
計	866,615	72,116	938,732	(13,941)	924,790
営業利益又は営業損失	△34,902	3,614	△31,287	107	△31,179

(注) 1 金額の△は損失を示しております。

2 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品等

(1) 事業区分の方法

事業区分は、製品、市場の類似性等を勘案して決定しております。

(2) 各区分に属する主要な製品等

事業区分	主要な製品等	
鉄鋼事業	鋼板	構造用厚鋼板、低温用鋼板、ラインパイプ用鋼板、高張力鋼板、熱延鋼板、冷延鋼板、電磁鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板、電気亜鉛めっき鋼板、カラー鋼板、プレコート鋼板、ステンレス精密圧延鋼板、純ニッケル鋼板他
	建材製品	H形鋼、外法一定H形鋼、軽量H形鋼、鋼矢板、鋼管杭他
	鋼管	継目無鋼管、電気抵抗溶接鋼管、大径アーク溶接鋼管、熱間溶接鋼管、異形鋼管、各種被覆鋼管、ステンレス鋼管他
	条鋼	機械構造用鋼、冷間鍛造用鋼、ばね鋼、快削鋼、軸受鋼、ステンレス条鋼他
	鉄道車両用品	車輪、車軸、台車、駆動装置、連結器他
	鍛造鋼品	鍛造クランクシャフト、金型用鋼、アルミホイール、鉄塔用フランジ、溝型車輪、圧延用ロール他
	半製品	鋼片、製鋼用銑他
	その他	チタン製品、製鉄技術、電力卸供給、鋼材等の海上・陸上輸送、設備メンテナンス、パイプライン、エネルギープラント、石灰石の販売他
その他の事業	電子部品、不動産の賃貸・販売他	

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）及び前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

c. 海外売上高

前第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	154,566	56,522	211,088
II 連結売上高(百万円)			501,228
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	30.8	11.3	42.1

当第3四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	91,123	33,233	124,357
II 連結売上高(百万円)			326,051
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.9	10.2	38.1

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	462,207	152,361	614,568
II 連結売上高(百万円)			1,482,534
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	31.2	10.3	41.5

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	265,406	105,097	370,503
II 連結売上高(百万円)			924,790
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	28.7	11.4	40.1

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

1 国又は地域の区分の方法

国又は地域の区分は、地理的近接度に基づいております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア………中国、韓国、東南アジア、中近東等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 粗鋼生産量 (株住友金属小倉、株住友金属直江津、株住友金属和歌山を含む)

(単位：万トン)

	前期			後期			通期
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
19年度	321	340	661	352	349	701	1362
20年度	350	354	704	336	248	584	1287
21年度見通し	228	279	507	326	337程度	663程度	1170程度

(2) 輸出比率 (株住友金属小倉、株住友金属直江津、株住友金属和歌山を含む・・・金額ベース)

(単位：%)

	前期			後期			通期
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
19年度	46	46	46	44	44	44	45
20年度	44	44	44	46	48	47	45
21年度見通し	48	42	45	41	42程度	41程度	43程度

(3) 為替レート

(単位：円/\$)

	前期			後期			通期
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
19年度	121	118	119	114	105	109	114
20年度	105	108	106	96	94	95	101
21年度見通し	97	94	95	90	90程度	90程度	93程度

(4) 外貨バランス (連結)

20年度	21年度見通し
2億\$/年程度 \$支払超過	7億\$/年程度 \$受取超過 ※

※ 但し、為替予約済。

(5) 鋼材平均価格 (株住友金属小倉、株住友金属直江津、株住友金属和歌山を含む)

(単位：千円/トン)

	前期			後期			通期
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
19年度	102.3	108.8	105.6	107.3	104.3	105.8	105.7
20年度	110.1	126.9	118.6	130.3	132.7	131.3	124.3
21年度見通し	109.4	86.8	96.8	79.0	83程度	81程度	88程度

(6) 単独決算見通し

(単位：億円)

	21年度		(前回) 21年度 通期見通し
	第3四半期実績	通期見通し	
売上高	6023	8200程度	8200程度
営業利益	△29	200程度	200程度
経常利益	△62	100程度	100程度
当期純利益	△62	50程度	50程度

(7) セグメント別の売上高及び営業利益見通し(連結)

(単位:億円)

	21年度第3四半期実績		21年度通期見通し	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼	8659	△349	12100程度	△50程度
その他	588	36	800程度	50程度

<鉄鋼事業カンパニー別売上>

(単位:億円)

	21年度第3四半期実績	21年度通期見通し
	鋼板・建材(連結)	3572
鋼管(連結)	3437	4750程度
交産品(連結)	619	850程度
住金小倉(連結)	703	1000程度

(8) 借入残高

(単位:億円)

	21/3末	21/9末	21/12末	22/3末見通し
連結	9900	11487	11774	11400程度
単独	9202	10695	11024	10700程度

(9) 損益変動要因分析(連結)

21年度第3四半期←20年度第3四半期

(為替レート TTM 21年度第3四半期: 94円/ドル←20年度第3四半期: 103円/ドル)

損益好転要因		損益悪化要因	
億円		億円	
(原料・資材) ※	1720	(評価損益)	△1120
(コスト改善)	240	(減産影響)	△700
(棚卸資産の簿価切下げ)	70	(持分法損益)	△446
		(固定費増)	△30
		(販売価格・構成他)	△2548
合 計	2030	合 計	△4844

差引経常利益△2814億円 21年度第3四半期実績△586億円←20年度第3四半期実績 2228億円

※ 原料・資材は、キャリーオーバー△920億円を含む。